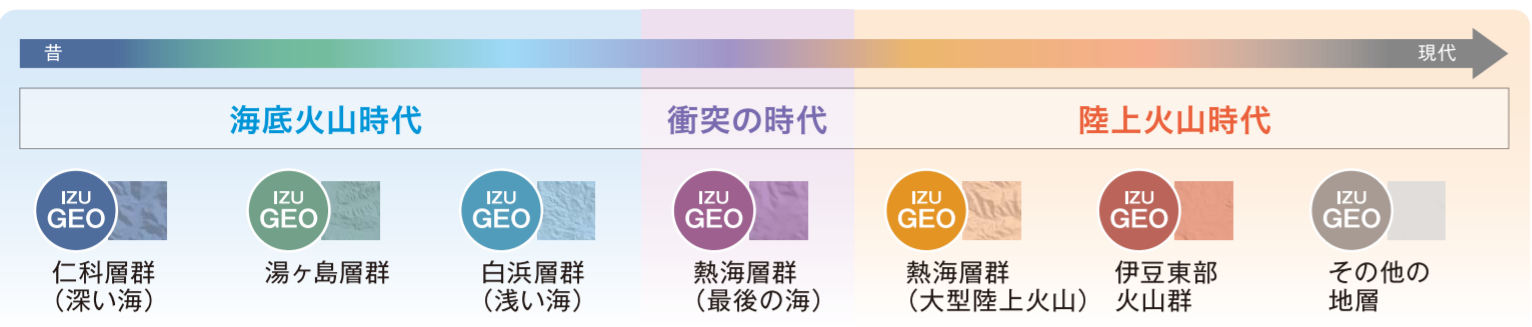


# 伊豆半島の 主なみどころ

伊豆半島は、大きく「海底火山時代の地層」と「陸上火山時代の地層」に分かれます。地図は各時代の地層で色分けをしています。(詳しい内容は裏面をご覧ください)



**13 走り湯** [熱海市] MAP E-1

温泉も火山の恵み。割れ目や隙間の多い火山噴出物は、地下水を多く蓄える。地下水は火山起源の高い地熱で温められ、岩石中から様々な成分を溶かし込んで温泉となる。熱海の伊豆山にある横穴式の歴史ある源泉・走り湯では、奥行約5mの横穴から湯けむりとともに温泉が走る。JR熱海駅より徒歩約20分

**14 玄岳** [函南町] MAP E-1

玄岳は、約70万～30万年前に活動した多賀火山の東側が浸食されて残った地形。伊豆スカイラインの玄岳ICから天城高原方面に向かってすぐに「西丹那 駐車場」があり、ここからは、1930年に北伊豆地震を起こした丹那断層でつくられた地形を望むことができる。伊豆スカイライン 玄岳ICよりすぐ

**15 大室山** [伊東市] MAP E-4

約4000年前の噴火により作られた大室山は、伊豆東部火山群の中で最大のスコリア丘。プリン型の山頂からは、このときに流れ出した溶岩が作りだした城ヶ崎海岸などの造形を望むことができる。この美しい山体は、毎年2月の第2日曜日に行われる山焼きによって保たれている。国指定天然記念物。伊豆急行線 伊豆高原駅よりバスで約25分

**1 鮎壺の滝** [長泉町] MAP C-1

約1万年前に富士山から流れてきた「三島溶岩」は長泉町や三島市の広い範囲の大地を作りだし、伊豆の北部地域に、湧水と多くの恵みをもたらしています。この溶岩の側端を流れ落ちる落差約10mの滝は、遠く背後に富士山を従え、現在の静かな富士山の姿と1万年前の荒ぶる富士山の姿を知ることができます。JR御殿場線 下土狩駅より徒歩約5分

**2 楽寿園** [三島市] MAP C-1

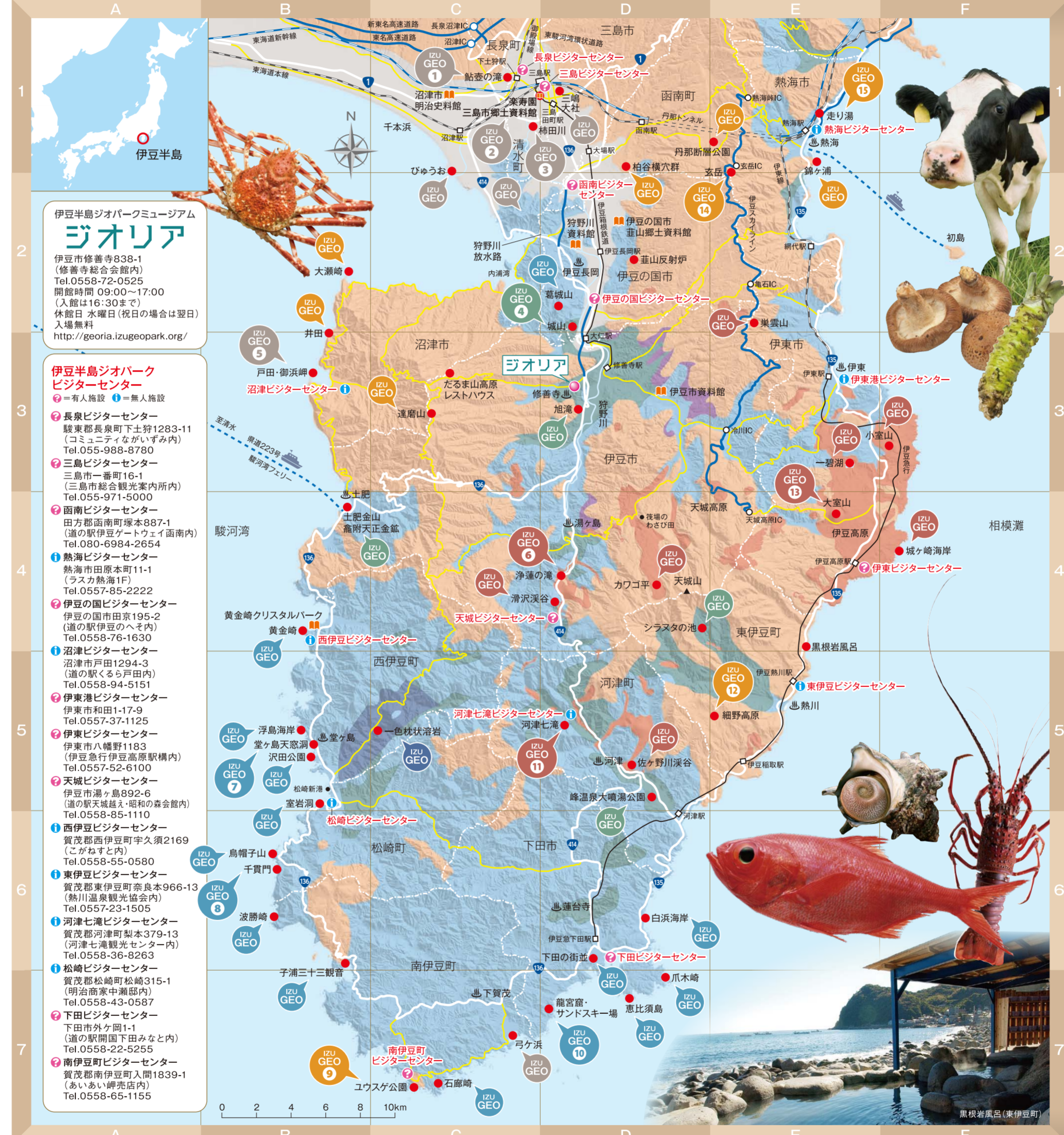
約1万年前の富士山の噴火では、ねばりけの少ない溶岩が遠く三島まで流れ下った。三島駅周辺では、溶岩が作るさまざまな造形や、溶岩のすきまからの湧水が美しい景観を生み出している。この荒々しくも美しい場所は、明治維新で活躍された小松宮彰親王が別邸として造営し、楽寿園として公開されている。JR三島駅南口より徒歩すぐ

**3 柿田川** [清水町] MAP C-1

富士山の溶岩によってもたらされる数多くの湧水群のなかでも、もっとも規模の大きな柿田川湧水。柿田川公園内にあるたくさんの「湧き間」から湧き出す清涼で豊かな湧水は、ミシママイカモなどたくさんの水辺の生き物を育てています。JR沼津駅南口・三島駅南口よりバスで約15分

**4 城山** [伊豆の国市] MAP D-2

特異な岩山の風景が人々の目を引く城山は、かつて海底火山の地下から上昇してきた「マグマの通り道(火山の根)」の根。大昔にはその周囲に火山灰などが堆積し、大きな山をなしていたが、のちの浸食によって硬い岩盤である「火山の根」だけが洗い出された。山頂までのハイキングで、狩野川を望む絶景を楽しむこともできる。伊豆箱根鉄道 大仁駅より徒歩約15分



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用しました。(承認番号 平24情使、第16号)

**12 細野高原** [東伊豆町] MAP E-5

細野高原は、伊豆最高峰である天城山(伊豆を代表する大型火山のひとつ)の中にできた緩やかな斜面にある。秋になると一面のスキで埋め尽くされ、太陽の光でキラキラと輝くスキは黄金の海を感じさせるほど。また、高原にある4つの湿地帯では、珍しい湿生植物や草原植物も楽しめる。伊豆急行線 伊豆稲取駅より車で約15分

**11 河津七滝** [河津町] MAP D-5

約2万5000年前におきた噴火で天城山の南側に位置する登り尾火山から流れ出した溶岩は河津川に流れ込み、谷間を2kmほど流れ下った。その後の河津川の流れはこの溶岩を美しく磨き上げ、河津七滝を作り出した。遊歩道からは、溶岩にかかる、様々な表情を持った滝を次々に楽しむことができる。伊豆急行線 河津駅よりバスで約25分

**10 龍宮窟** [下田市] MAP D-7

伊豆半島の南部には、太古の海底火山の噴出物が広く分布する。海底火山時代ののちに隆起し姿を現した美しい地層が伊豆南部の景色を作り出す。龍宮窟ではこうした海底火山の地層のほか、波や風による浸食作用が作った芸術的な地形を楽しむ。自然が作り出した不思議な空間。ある場所から見ると大きなハートが見える。伊豆急行線 伊豆下田駅よりバスで約20分

**5 御浜岬** [沼津市] MAP B-3

プレートの沈み込みによる深海が生み出したタカアシガニの水揚げで有名な戸田港。その入口にある御浜岬は、海流の作用により土砂が運ばれてできた岬である。岬にある戸田造船郷土資料博物館・駿河湾深海生物館ではタカアシガニの標本や、安政東海地震の津波で被災したロシア軍艦ディアナ号の錨を見学できる。東名高速 沼津IC・新東名高速 長泉沼津ICより車で約70分

**6 浄蓮の滝** [伊豆市] MAP D-4

約1万7000年前の噴火で鉢窪山のみもとから流れ出した溶岩は、谷を埋め立て、この美しい滝を作りだした。滝の岩盤には、溶岩が冷える過程で作られた規則的な柱状の割れ目(柱状節理)が形作られ、流れ落ちる滝のための美しい舞台を作り出す。滝の周囲には県指定天然記念物ハイコモチシダも自生。伊豆箱根鉄道 修善寺駅よりバスで約35分

**7 堂ヶ島天窓洞** [西伊豆町] MAP B-5

海の青とダイナミックな白い崖のコントラストがひととき目を引く堂ヶ島は、海底火山の噴火にともない噴出された白色の軽石が海底に降りつくり、波や海流の作用により美しい竝模(斜交層理)が刻まれたもの。海食洞である天窓洞は、中央の天井部が丸く抜け落ちそこから差し込む日差しが神秘的な空間をつくりだす。伊豆箱根鉄道 修善寺駅よりバスで約90分

**8 千貫門** [松崎町] MAP B-6

松崎町南部に広がる荒々しい岩石海岸。これらの岩場は、かつて海底火山の地下から上昇してきたマグマの通り道「火山の根」が地上に姿を現したもの。千貫門も「火山の根」の一部で、マグマが冷え固まってできた柱状節理が積み重なった。波に削られて形づくられた迫力ある門の姿には、千貫の価値がある。松崎新港または西伊豆堂ヶ島から遊覧船

**9 ユウスゲ公園** [南伊豆町] MAP C-7

太古の海底火山の噴出物が作り出す迫力ある景観が多い南伊豆に突然現れるなだらかな丘。伊豆が半島になったあとに噴出した火山が、険しい山地の一部を埋め立てて作り出した。展望台では、伊豆が海底火山だった時代の地層から、半島になってからの火山まで、伊豆の成り立ちに関わるストーリーが眼下に広がる。伊豆急行線 伊豆下田駅よりバスで約40分